

目次

□巻頭言 志加藤 三重次 / 1

□80年代の建設機械化を考える

雪を克服する後藤 勇 / 4

80年代の港湾建設と作業船中川 英毅 / 5

構造形式の選定に関する展望川人 達男 / 7

80年代のダム建設工事川端 徹哉 / 9

トンネル建設機械について高木 清晴 / 10

海洋工事の施工計画と設備機械青木 忠宗 / 12

モグオ君の夢菊池 建二 / 14

80年代の建設業について橋場 信吉 / 16

海洋開発における建設機械化田崎 幸哉 / 17

道路工用機械の現状と動向三崎 弘史 / 18

80年代のリース・レンタル岸上 淳 / 20

場所打ちコンクリート杭稲村 利男 / 22

機械土工の進路羽鳥 忠雄 / 24

建設機械についての雑感棚沢 政男 / 26

建設機械用ディーゼル機関の展望中戸 恒夫 / 27

80年代の建設機械を考える—クローラクレーンを主体に牧 宏 / 29

大型ダンプトラックをとりまく諸問題深野 愛蔵 / 31

締固め機械の転路遠藤 徳次郎 / 32

アスファルトプラントの省エネルギー西尾 勝彦 / 34

真の国際化が望まれる油圧機器小笠原文 男 / 36

建設機械整備のゆくえ沼倉 博友 / 37

整備業としての対応について安地 猛司 / 39

建設機械流通機構はどう変化するか佐藤 隆則 / 41

流通部門の機能と課題古河 洋 / 42

□随想 新しい目、古い目—技術交流雑感内田 貫一 / 45

創立 30 周年記念建設機械展示会見聞記本田 宜史 / 48

グラビア—昭和 54 年度建設機械展示会

建設機械と施工法シンポジウム見聞記本田 宜史 / 51

□新機種ニュース調査部 会 / 55

□ISO 規格紹介

土工機械の運転・整備に関する ISO 標準規格 (6)ISO 部 会 / 60

□統計

建設工事費デフレータほか建設関連統計調査部 会 / 63

理事会の開催 / 64

行事一覧 / 64

編集後記(本田・田辺・森谷) / 68

◀表紙写真説明▶

CAT 950 サイドスライド式
アングリングブラウ付除雪ドーザ
キャタピラー三菱株式会社

本機は、市街地道路の拡幅、山間道路での路肩へのかき寄せ、押上げ作業に適したサイドスライド式アングリングブラウを装着した除雪ドーザである。左右 350 mm までのスライドと左右各 30° のアングルが運転席から油圧操作でき、しかもアングル、前後傾時チルトも可能で、作業条件に応じて効率よく稼働できる。また機械本体も屈折式フレーム、パワーシフトトランスミッションによりすぐれた機動力を発揮し、広いトレッド、ディスクブレーキなど高い安全性、安定性も兼ねそなえている。

◀主な仕様▶

総重量13,550 kg
フライホイール出力132 PS
全長6,740 mm (ブラウストレート地上時)
全幅3,745 mm (ブラウストレート時)
全高3,405 mm
路面除雪幅3,245 mm (ブラウ 30° アングル時)
最大除雪高さ655 mm